YAMAHA

M7CL
DIGITAL MIXING CONSOLE

M7CL V1.10 追補マニュアル

M7CLファームウェアV1.10では、V1.05から以下の変更と補足がございます(V1.06での変更点も含みます)。

* 本製品のV1.10 以降のヘルプ機能には、株式会社リコーのBitmap Fontが使われています。

V1.06での変更点

- M7CL Editorとの同期速度が改善されました。
- ATT/HPF/EQポップアップウィンドウ(1ch)およびDYNAMICSポップアップウィンドウ(1ch)で、誤操作を防止するために、ONボタンの位置を×(閉じる)ボタンから離しました。
- GEQポップアップウィンドウでGEQフェーダーを押すと、Centralogicセクションに割り当てられたフェーダーを切り替えられるようになりました。また、割り当てられたフェーダーの番号がGEQフェーダーに表示されるようになりました。
- ポップアップウィンドウやSCENE LISTウィンドウが表示されているときでも、ディスプレイ下部のチャンネル番号/チャンネル名フィールドは見えるようにウィンドウの表示位置を改善しました。

V1.10での変更点

- ユーザー認証キー以外のM7CLのすべての内部データを一括してSAVE/LOAD画面で保存する場合、管理者およびゲストのユーザーレベル、ユーザー定義キーやプリファレンス設定も含めて保存されるようになりました。M7CL本体では、これらのデータは管理者ログイン時のみ読み込みできます。M7CL Editor (V2.1.1以降)では、これらのデータは常に読み込みできます。ただし、以前のバージョンのM7CL本体やM7CL Editorでは、V1.10以降で保存したこれらのデータは読み込みできません。
- ファンクションアクセスエリアの [?] (ヘルプ)ボタンを押すと、M7CLのヘルプが表示されるようになりました。詳細は「ヘルプ機能の使い方」をご参照ください。
- ユーザー定義キーでブックマークした画面またはポップアップウィンドウを表示中は、割り当てられたユーザー定義キーが点滅するようになりました。
- SELECTED CHANNELセクションのEQ [Q] エンコーダーとEQ [GAIN] エンコーダーを同時に押すと、バンドごとにGAINを初期設定値(0.0dB)にリセットできるようになりました。
- ユーザー定義キーに割り当てられるパラメーターとして、以下が追加されました。

ファンクション	PARAMETER 1	PARAMETER 2	解説
SET BY SEL	SET [INSERT ON]	—	このキーを押しながら各チャンネルの[SEL]キーを押すと、そのチャンネルのINSERT ONをオン/オフすることができます。
SET BY SEL	SET [DIRECT OUT ON]	—	このキーを押しながら各チャンネルの[SEL]キーを押すと、そのチャンネルのDIRECT OUT ONをオン/オフすることができます。
HELP	—	—	HELPポップアップウィンドウを開いたり閉じたりします。このキーを押しながらパネル上の操作子(フェーダーを除く)や画面上の操作子を操作すると、該当する説明を表示します。

- INPUTチャンネルからのダイレクト出力の位置として、PRE FADER(フェーダーの直前)が追加されました。
- M7CL V1.10をお使いの場合、M7CL Editorは必ずV2.1.1以上をお使いください。最新版のM7CL Editorはウェブサイトからダウンロードしてご利用いただけます。

http://proaudio.yamaha.co.jp/

ヘルプ機能の使い方

ヤマハから提供されているヘルプファイルを表示したり、ユーザーが作成した任意のテキストファイルを表示したりすることができます。

* ヤマハ以外の第三者が制作したヘルプファイルを使用した結果生じた損害については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

■ USB記憶装置からヘルプファイルをロードする

NOTE

・ヘルプファイルは本体メモリーにバックアップされません。電源を入れる度に、USB記憶装置からロードし直す必要があります。ユーザー認証キーを保存したUSB 記憶装置にヘルプファイルも保存しておくと便利です。

1 ヤマハから提供されているヘルプファイル(拡張子.xml)を、あらかじめUSB記憶装置に保存しておきます。ヘルプファイルの最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてください。

http://proaudio.yamaha.co.jp/

2 ファンクションアクセスエリアのSETUPボタンを押して、SETUP画面を呼び出します。

SAVE/LOADボタン

3 SAVE/LOADボタンを押して、SAVE/LOADポップアップウィンドウを表示させます。

4 ファイルリストに表示されたヘルプファイルを押す、またはパネル上のマルチファンクションエンコーダー 1を回して、ロードしたいヘルプファイルを選択します。

5 LOADボタンを押すと、確認のダイアログが表示されます。

6 OKボタンを押して、ロードを開始します。

■ USB記憶装置からテキストファイルをロードする

1 市販のテキストエディタやMicrosoft Windowsシリーズに付属の「メモ帳」などを用いて、あらかじめテキストファイル(拡張子 .txt)を作成し、USB記憶装置に保存しておきます。

テキストファイルの文字コードは、標準でUTF-8として認識されます。ただし、ファイルの先頭に[Shift_JIS]または[ISO-8859-1]という行を追加しておくと、その文字コードとして認識させることができます。お使いのテキストエディタでファイルを保存するときに、適切な文字コードを指定して保存してください。
ヘルプ機能で表示できるテキストファイル(文字コード/言語)は、以下のとおりです。

- ISO-8859-1 の文字コードで記述したテキストファイル(英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語など)
- Shift_JIS の文字コードで記述したテキストファイル(日本語)
- 上記言語をUTF-8の文字コードで記述したテキストファイル

2 ファンクションアクセスエリアのSETUPボタンを押して、SETUP画面を呼び出します。

3 SAVE/LOADボタンを押して、SAVE/LOADポップアップウィンドウを表示させます。

4 ファイルリストに表示されたテキストファイルを押す、またはパネル上のマルチファンクションエンコーダー 1を回して、ロードしたいテキストファイルを選択します。

5 LOADボタンを押すと、確認のダイアログが表示されます。

6 OKボタンを押して、ロードを開始します。

■ ヘルプを表示する

1 あらかじめUSB記憶装置からヘルプファイルまたはテキストファイルをロードしておきます。

2 ファンクションアクセスエリアの [?] (ヘルプ)ボタンを押してHELPポップアップウィンドウを表示させせます。

3 マルチファンクションエンコーダー１～2を回すと、左側の目次エリアをスクロールできます。マルチファンクションエンコーダー3～8を回すと、右側のメインエリアをスクロールできます。

4 文章内リンク(アンダーラインの箇所)を押すと、そのリンク先にスクロールします。

また、ウィンドウリンク(→マークとアンダーラインの箇所)を押すと、HELPポップアップウィンドウを閉じ、該当するウィンドウを開きます。

5 必要に応じて、ツールバーの各ボタンを使ってもスクロールできます。

- ↰ ボタン……現在の表示位置よりも前の章にスクロールします。
- ← ボタン……リンクを押した履歴のうち、一つ前の履歴へ戻ります。
- → ボタン……リンクを押した履歴のうち、一つ後の履歴へ進みます。

6 ファンクションアクセスエリアの [?] (ヘルプ)ボタンまたはHELPポップアップウィンドウの×ボタンを押して、ウィンドウを閉じます。

■ ユーザー定義キーを使ってヘルプを直接呼び出す

1 あらかじめUSB記憶装置からヘルプファイルをロードしておきます。

2 ファンクションアクセスエリアのSETUPボタンを押して、SETUP画面を呼び出します。

3 画面左上のUSER SETUPボタンを押して、USER SETUPポップアップウィンドウを表示させます。

4 USER DEFINED KEYSタブを押して、USER DEFINED KEYSページに切り替えます。

5 ヘルプ機能を割り当てたいユーザー定義キーに対応するボタンを押します。

6 FUNCTIONの列で「HELP」を選択し、OKボタンを押します。

7 ユーザー定義キーへの機能の割り当てが終わったら、×マークを押してUSER DEFINED KEYSページを閉じます。

8 ファンクションアクセスエリアのSETUPボタンを押して、SETUP画面を閉じます。

ユーザー定義キーのみでHELPポップアップウィンドウを呼び出す場合

9 ヘルプ機能を割り当てたユーザー定義キーを押すと、HELPポップアップウィンドウが表示されます。

10 ヘルプ機能を割り当てたユーザー定義キーをもう一度押すと、ウィンドウが閉じます。

パネル操作子に対するヘルプを直接呼び出す場合

9 ヘルプ機能を割り当てたユーザー定義キーを押しながら、機能の概要を知りたいパネル上の操作子を押します(または回します)。

ヘルプ機能を割り当てたユーザー定義キーを押している間は、フェーダー以外のパネル上の操作子は機能しません。

10 該当する操作子の説明がある場合は、HELPポップアップウィンドウが表示されて自動的に該当項目へスクロールします。

一つの操作子に対して複数の説明がある場合は、手順9を繰り返すことで順に説明を表示することができます。

11 ヘルプ機能を割り当てたユーザー定義キーをもう一度押すと、ウィンドウが閉じます。

LCD画面上の操作子に対するヘルプを直接呼び出す場合

9 ヘルプ機能を割り当てたユーザー定義キーを押しながら、機能の概要を知りたい画面上の操作子を押します。

ヘルプ機能を割り当てたユーザー定義キーを押している間は、画面上のボタンやタブは機能しません。

10 該当するヘルプが存在する場合は、HELPポップアップウィンドウが表示されて自動的に該当項目へスクロールします。

一つの操作子に対して複数の説明がある場合は、HELPポップアップウィンドウを閉じたあと、手順9を繰り返すことで順に説明を表示することができます。

11 ヘルプ機能を割り当てたユーザー定義キーをもう一度押すと、ウィンドウが閉じます。

U.R.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation
© 2006 Yamaha Corporation